

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年1月13日

協議会名: おいらせ町地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
岩手県北自動車株式会社 南部支社	町民バス 北線 市街地循環線(2系統) ①下田駅、百石中央経由 ②下田駅経由	令和4年度新規事業のため、前 回事業評価なし。	A 事業が計画に位置付けられ たとおり、適切に実施され た。	B 収支率は26.3%と目標であ る25%を達成した。 不満の割合は19.1%と目標 である15.0%を達成できな かった。	鉄道や路線バスの接続につい て、各ダイヤ改正等を踏まえ、 運行時刻等の見直しを検討す る。
三八五交通株式会社	おいらバス	令和4年度新規事業のため、前 回事業評価なし。	A 事業が計画に位置付けられ たとおり、適切に実施され た。	C 収支率は13.2%と目標であ る25%を達成できなかった。 不満の割合は19.1%と目標 である15.0%を達成できな かった。	定時定路線のバスとは違う利 用方法であることや住民への 周知不足から、当初想定よりも 利用者数が少ない状況である。 利用の多い施設等と連携を 図り、利用促進に向けたPRを 行っていく。
富岡 良彦	おいらバス	令和4年度新規事業のため、前 回事業評価なし。	A 事業が計画に位置付けられ たとおり、適切に実施され た。	C 収支率は21.1%と目標であ る25%を達成できなかった。 不満の割合は19.1%と目標 である15.0%を達成できな かった。	定時定路線のバスとは違う利 用方法であることや住民への 周知不足から、当初想定よりも 利用者数が少ない状況である。 利用の多い施設等と連携を 図り、利用促進に向けたPRを 行っていく。
有限会社円徳タクシー	おいらバス	令和4年度新規事業のため、前 回事業評価なし。	A 事業が計画に位置付けられ たとおり、適切に実施され た。	C 収支率は20.0%と目標であ る25%を達成できなかった。 不満の割合は19.1%と目標 である15.0%を達成できな かった。	定時定路線のバスとは違う利 用方法であることや住民への 周知不足から、当初想定よりも 利用者数が少ない状況である。 利用の多い施設等と連携を 図り、利用促進に向けたPRを 行っていく。

## 事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和5年1月13日

協議会名:	おいらせ町地域公共交通会議
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>おいらせ町は、青森県の東部に位置し、面積は71.96km<sup>2</sup>、人口は24,273人(R2国勢調査)である。</p> <p>八戸市や三沢市等の隣接都市への広域的な移動手段として、青い森鉄道が南北に運行するほか、八戸市・十和田市への広域的な移動手段として十和田観光電鉄の路線バス(八戸線・地域間幹線系統)が運行している。</p> <p>また、鉄道及び路線バスでカバーしきれない町内での移動に対応するため、町民バスを運行し、町民の日常生活の移動手段として重要な役割を担っていたが、公共交通全体の利用者数の減少により運行収益の悪化、及び財政負担の増加を招いている状況にあり、町民バス運行の維持にあたっては非常に厳しい状況が続いていた。定路線型で運行する町民バスでは、住民の移動ニーズに対応しきれず、住民からの改善要望も多く上がる状況にあり、サービス改善に向けた検討が必要な状況にあったことから、町民バスを再編し、北線、市街地循環線を運行するとともに、新たにデマンド型乗合バス(おいらバス)を令和4年4月より運行している。</p> <p>当町の公共交通については、町民の日常生活の移動(買物・通学・通院等)において必要不可欠であるとともに、当町への来訪者における商業施設等への移動手段として、当町の活性化を支える重要な役割も担っていることから、これらの路線を今後も存続することが重要である。</p>